

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
(こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

適用病害と使用方法

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

・散布剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量★	使用時期	総使用回数※	使用方法
しょうが	白星病	600倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	本剤:2回以内、キャプタン:5回以内(塊茎粉衣は1回以内、灌注は2回以内、散布は2回以内)	散布
小麦	赤かび病、葉枯症	600～1,000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	4回以内	
	黒変病、黒点病	1,000倍				
芝	葉腐病(ブラウンパッチ)	300～500倍	0.5～2L/ 平方メートル	発病初期	8回以内	
		500～800倍	1～2L/平方メートル			
	赤焼病	300～800倍				
西洋芝(ベントグラス)	炭疽病	300～500倍	0.5L/ 平方メートル			
ばら	黒星病	800倍	100～300L/10a	－		
	茎腐病、立枯病、苗立枯病	600倍				
りんどう	葉枯病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
せんにちこう	斑葉病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
コスモス	そうか病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
ひまわり	べと病、黒斑病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
シネリリア	褐斑病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
スイトピー	腰折病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
みやこわすれ、アンスリウム	根腐病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
斑入りアマドコロ	斑点病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
花き類・観葉植物(ばら、りんどう、せんにちこう、コスモス、ひまわり、シネリリア、スイトピー、みやこわすれ、アンスリウム、斑入りアマドコロを除く)	茎腐病、立枯病、苗立枯病					
ゆきやなぎ	苗立枯病	1,000倍	200～700L/10a			
せんりょう	炭疽病	600倍				

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量★	使用時期	総使用回数※	使用方法
トマト	疫病	800～1,200倍	100～300L/ 10a	収穫前日まで	本剤:5回以内、キャプタン:5回以内(種子粉衣は1回以内)	散布
	葉かび病、灰色かび病	800倍				
きゅうり	炭疽病、褐斑病	600～800倍				
	べと病	600倍				
しろうり、かぼちゃ	べと病	600倍		収穫14日前まで		
	炭疽病	400～800倍				
すいか、メロン	べと病、つる枯病	600倍				
	炭疽病	400～800倍				
ごぼう	黒斑病	800倍			本剤:5回以内、キャプタン:6回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内)	
いちご	灰色かび病、炭疽病、芽枯病	800倍		収穫30日前まで	3回以内	
いんげんまめ	炭疽病	600～1,200倍			本剤:2回以内、キャプタン:3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)	
たまねぎ	灰色かび病、白色疫病、苗立枯病	600倍		収穫前日まで	本剤:5回以内、キャプタン:6回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内)	
葉たまねぎ				収穫7日前まで		
はくさい	黒斑病、白斑病、苗立枯病	600～1,200倍			本剤:5回以内、キャプタン:6回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内)	
	べと病、炭疽病	600倍				
小粒核果類	黒星病	800～1,000倍	200～700L/ 10a	収穫21日前まで	3回以内	
	すす斑病	800倍				
ブルーベリー	斑点病	500～1,000倍			本剤:2回以内、キャプタン:5回以内(生育期は2回以内、収穫終了後～落葉期までは3回以内)	
	すす点病、灰色かび病	500倍				
マルメロ	黒点病	1,000倍		収穫14日前まで	6回以内	
パイナップル	根腐萎凋病	500倍	300～400L/10a	収穫21日前まで	3回以内	
パパイヤ	炭疽病	600倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	
マンゴー				収穫7日前まで		
もも	縮葉病			発芽前	4回以内	
かき	落葉病、炭疽病、すす点病	1,000倍		収穫7日前まで	5回以内	
ぶどう	晩腐病、褐斑病、灰色かび病、べと病、枝膨病、黒とう病	800倍		収穫30日前まで	3回以内	
おうとう				褐色せん孔病、灰星病、炭疽病	収穫3日前まで	5回以内
りんご	黒星病	600～1,000倍		収穫前日まで	6回以内	
	黒点病	800～1,200倍				
	斑点落葉病、輪紋病、褐斑病、すす点病、すす斑病	600～800倍				
	炭疽病	800倍				
なし	赤星病、黒星病、輪紋病	600～1,000倍	収穫 3日前まで	9回以内		
	疫病	1,000倍				
	炭疽病	800倍				

・土壌病害に使用する場合

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	使用液量	総使用回数※	使用方法
アイリス	青かび病	400倍	植付前	—	8回以内	30分間球根浸漬
チューリップ		800～1,000倍	球根掘取時及び植付時			球根浸漬
ピーマン	苗立枯病	種子重量の0.2～0.4%	は種前	2L/平方メートル	本剤:1回、キャプタン:2回以内(種子粉衣は1回以内)	種子粉衣
せり科葉菜類 (せりを除く)		800倍	は種後から2～3葉期まで		本剤:2回以内、キャプタン:2回以内(種子粉衣は1回以内)	灌注
とうがらし類						
トマト、きゅうり、 なす、メロン、すいか、 しろうり、かぼちゃ		種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	本剤:1回、キャプタン:5回以内(種子粉衣は1回以内)	種子粉衣
	800倍	は種後から2～3葉期まで	2L/平方メートル	本剤:5回以内、キャプタン:5回以内(種子粉衣は1回以内)	灌注	
しょうが	根茎腐敗病	塊茎重量の2%	植付前	—	本剤:1回、キャプタン:5回以内(塊茎粉衣は1回以内、灌注は2回以内、散布は2回以内)	塊茎粉衣
	白星病	400倍	収穫30日前まで	3L/平方メートル	本剤:2回以内、キャプタン:5回以内(塊茎粉衣は1回以内、灌注は2回以内、散布は2回以内)	灌注

作物名	適用病害名	使用量	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
野菜類、豆類(種実)、飼料作物、未成熟とうもろこし	ピシウム・リゾクトニア菌による病害(苗立枯病等)	種子重量の0.2～0.4%	—	は種前	1回	種子処理機による種子粉衣
花き類・観葉植物					本剤:1回、キャプタン:8回以内	

★使用液量の単位の読み方:「L/10a」＝「ml/平方メートル」(例:100～300L/10a＝100～300ml/平方メートル)

効果・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等のアルカリ性薬剤及びマシン油剤との混用はさけてください。
- チューリップに使用する場合は、球根の土をよく落とし、15分間浸漬してください。
- いちごに対する高温時の散布は、薬害を生ずるおそれがありますので、夏期の防除は高温時をさけて、朝夕などの涼しい時に散布してください。
- パイナップルの根腐萎ちょう病防除に使用する場合は、植付後1ヵ月以内及びその後発生をみたら直ちに、散布液が株元の土壌にも浸透するようにY散布してください。
- マンゴーに使用する場合、着色期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがありますので十分注意してください。
- ももの縮葉病防除に使用する場合は、発芽後の若葉には薬害のおそれがありますので、必ず発芽前に散布してください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期～袋掛けまでの散布は、果粉の溶脱や果実の汚染を生じることがありますので十分注意してください。
- おうとうに使用する場合、5月下旬以降の散布には、固着性の強い展着剤を加用しないでください。
- うめに対する高温時の散布は、薬害を生ずるおそれがありますので、5月下旬以降の防除は高温時をさけて散布してください。
- りんごの斑点落葉病に対して、後期の多発時では効果が劣ることがありますので、初期の防除を主体としてください。黒点病、黒星病などとの同時防除に使用するのが有効です。
- ブルーベリーに使用する場合、果実肥大期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがありますので十分注意してください。
- コケ類に対して使用する場合は、散布時期を逸しないよう発生初期に本剤を散布し、十分な効果が得られない場合には、14日前後の間隔で反復処理を行ってください。
- 本剤を使用したつまみ菜、間引き菜等の幼植物は食用に供さないでください。

- 本剤で処理した種しょうがは食料や動物飼料として用いないでください。また、収穫時には新しょうがと処理した種しょうがを分別し、種しょうがは食料や動物飼料として用いないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)